

# 平成 29 年度シラバス（家庭総合）

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科（科目）	家庭総合	単位数	2 単位	学年（コース）	2 学年
使用教科書	教育図書「家庭総合 ともに生きる明日をつくる」				
副教材等	なし				

## 1. 学習目標

人の一生と家族・家庭、食生活の科学と文化、衣生活の科学と文化に関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決するとともに、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

## 2. 指導の重点

- ①生涯発達の視点から各ライフステージの特徴と課題をそれに応じた意思決定について理解できることを目指します。
- ②心豊かで充実した食生活を営むことができることを目指します。
- ③心豊かで充実した衣生活を営むことができることを目指します。

## 3. 学習計画

月	単元名	教材	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	第 1 章 人の一生と家族	①人生ってなんだろう？ ②青年期とはどんな時期？	・生涯発達の視点から各ライフステージの特徴・課題とそれに応じた意思決定の必要性について理解する。 ・青年期の自立について考え、男女の役割について理解する。また、自分の問題として意識する。	2	定期考査 授業の取組
5	生活を見つめ直す 6. 食生活	①なぜ食べるのか ②何を食べるのか	・人間と食べ物、食事の意義について考える。 ・現在の食生活について考える。 ・食品群別摂取量の目安を理解する。 ・栄養素の種類と機能について理解する。	5	
☆ 1 学期中間考査					
6		③食品の選択と取り扱い ④献立作りと調理 調理実習	・食生活と健康との関係を理解する。 ・一日の献立を作成する。 ・調理法と調理の基礎技術を身に付ける ・健康や安全に配慮した食生活の管理を理解する。	3 8 6	定期考査 授業の取組 実習の取組
7	☆ 1 学期期末考査				
8	7. 衣生活	④衣服をつくる	・基礎的な裁縫技術を身につける。	14	授業の取組 実技 定期考査 授業の取組
9					
10	☆ 2 学期中間考査	①なぜ服を着るのか 衣服の成り立ちと性質 ②衣服の管理 ⑤伝統的な衣服	・人間と衣服のかかわりを考える。 被服材料の性能と取り扱い上の特徴について理解する。 ・洗剤の働きと汚れが落ちる仕組み、洗濯の注意点について理解する。 被服計画の必要性について理解する。	4 8	定期考査 授業の取組
11					
12	☆ 2 学期期末考査				
1	6. 食生活	⑤食と暮らしの関わりを知ろう。	・食文化を継承する ・環境に配慮した食生活を送ろう	4	定期考査 授業の取組 実習の取組
2	9. 環境	①生活を見つめてみよう	・自分の生活を見つめ直し、地球環境保全に貢献できるライフスタイルを確立するための基礎をつくる。	8	
3	☆ 学年末考査	②環境のためにできること			

64 時間（55 分授業）

## 4. 課題・提出物等

各単元、調理実習・被服製作等でレポート、課題を提出してもらいます。

## 5. 評価規準と評価方法

評価は次の 4 観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・技能	表現	知識・理解
各単元について関心を持ち、意欲的に考えようとしている。 実習に積極的に参加している。	自分の生活の視点で捉え、実践しようとしている。 実習について、作業内容を把握し適切に動くことができる。	被服・調理に関する基礎的な技術が身についている。 人生設計を表すことができる。	各単元についての基礎知識を理解している。
以上の観点を踏まえ	・授業への取組状況 ・安全に配慮した実習活動	・ファイル、実習の記録、課題、レポート等の提出物 ・定期テスト	などから、総合的に判断します。

## 6. 担当者から一言

毎日の生活をより豊かに過ごすための知識、技術の習得を目指し授業を行っていきます。実習も多くあるので、安全・衛生に注意し、将来は自立した生活ができるように生活力を身につけて行きましょう。

担当 中野由佳